

はじめに

本報告書は、「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」(平成 21 年 9 月実施。)の結果と、過去のアンケートの結果を時系列で比較分析したもので、男女共同参画に関する県民の意識の推移と生活の状況の変化を明らかにするための基礎資料です。

ねらい

三重県においては、平成 12 年に「三重県男女共同参画推進条例」を制定して以降、平成 14 年には「三重県男女共同参画基本計画」(計画期間：平成 14 年度～平成 22 年度)を策定し、さらに、平成 19 年にこれを改訂するなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進しています。

そこで、この 10 年間の取組を検証し、今後、施策を推進していくための基礎資料として、この間の男女共同参画に関する県民意識調査の推移と生活状況の変化を把握するため、アンケート結果の時系列分析を行うものです。

分析の特徴

この 10 年間ににおける理念の実現状況の推移と生活状況の変化について把握するため、「男女の地位評価」「固定的性別役割分担意識」「子育てや子どもの教育方針」「結婚」「家庭生活・職業生活・社会活動の状況」「女性の人権」について、生活のそれぞれの場における県民意識の推移や生活状況の変化をみています。

また、三重県の特徴を把握するために、必要に応じて、全国の調査結果と比較検討しています。

時系列分析に使用したデータ(過去のアンケート調査結果)

比較分析に使用する過去のアンケート調査結果は、この 10 年間の推移と変化を把握するために必要な平成 12 年調査、平成 16 年調査、平成 18 年調査によるものを使用しています。

また、比較検討が可能な国のデータとして、平成 12 年、平成 14 年、平成 16 年、平成 19 年及び平成 21 年度に内閣府が実施した「男女共同参画に関する世論調査」ならびに「男女のライフスタイルに関する意識調査」(平成 21 年実施)の結果を使用しています。